

日本臨床心理劇学会第48回長崎大会 プログラム・抄録集



大会テーマ

「今ここ」でできる心理劇の可能性

会期 2023年2月18～19日

会場 長崎国際大学

目次

<u>大会長挨拶.....</u>	<u>2</u>
<u>参加者へのご案内.....</u>	<u>3</u>
<u>会場マップ.....</u>	<u>9</u>
<u>駐車場のご案内.....</u>	<u>10</u>
<u>会場（交通）案内.....</u>	<u>11</u>
<u>研究発表抄録集.....</u>	<u>12</u>

大会長挨拶

会員の皆様、また、本大会にご参加の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日本臨床心理劇学会の第 48 回長崎大会を長崎県佐世保市にあります長崎国際大学にて開催する運びとなりました。この度は、3 年ぶりの対面形式での開催となりましたが、ご参加される皆様の心に残る大会になることを願って、これまで準備を進めてまいりました。

さて本大会ではテーマを『「今ここ」でできる心理劇の可能性』と致しました。コロナ禍になって以降、アクション・メソッドをベースとする心理劇の実践や研究において、さまざまなバリアに直面する 3 年間であったと思います。しかし、こうしたコロナ禍においても、各領域における心理劇の「今ここ」での体験を大事にしながら心理劇の可能性を模索してこられたのではないのでしょうか。支援の実践場面のみならず私達の日常生活においても心理劇のような個々が所属しているグループにおいて異なる役割を果たしていくための活用方法についても体験的に理解を深めていただけたら幸いです。

さらに、2 日目の本大会企画のシンポジウムでは、『これまでの各領域での取り組みと新たな展開』というテーマを参加者の皆さまと考えていきたいと思いシンポジウムを企画しました。「医療・福祉・教育」の各領域でご活躍されているシンポジストの方々に「日常的な臨床活動」、「それぞれの現場における課題」、「新たな気づきや可能性」などについて取り組みを報告していただきます。心理劇の新たな展開について参加者の皆様と討論を深めたいと考えています。

本大会が皆様のご協力により盛会となり、そして日本臨床心理劇学会の未来につながる大会になりますことを願って、ご挨拶とさせていただきます。

日本臨床心理劇学会 第 48 回長崎大会
大会長 柳 智盛

参加者へのご案内

1. スケジュール

		12:00	13:00		18:00	19:00
2月18日(土)		受付	開会	ワークショップ		交流会
	9:30	10:00	11:30	12:00	13:00	15:00
2月19日(日)	受付	研究発表	総会	昼食	シンポジウム	閉会

2. 受付

場所：長崎国際大学 2号館1階

時間：2月18日(土) 12:00～

2月19日(日) 9:30～

3. 参加証の明示

参加証は、大会、研修会期間中、交流会の際は必ず携行してください。紛失された場合には大会事務局にお申し出ください。

4. 交流会

2月18日(土) 18:00～ 4号館 4101 教室

飲食等をご用意できませんが、ワークショップ後の体験の共有や、久しぶりに集まった会員同士の交流の場を設けたいと考えています。気軽にご参加ください。

5. 総会

2月19日(日) 11:30～ 4号館 4101 教室

学会員の方はご参加ください。

6. 昼食について

2月18日(土)：2号館 2203教室

2月19日(日)：2号館 2101 教室 2201 教室

2月19日(日)の昼食を注文された方は、2号館1階にてお渡し致します。

複数の会場を用意いたします。昼食会場では他の参加者と席を離して座り、黙食をお願いします。

7. 研究発表者へのご案内

発表は1題あたり20分（発表15分、質疑応答5分）です。発表者は時間を厳守し、進行にご協力をお願いします。また、2月19日（日）の開始前に動作確認が可能です。直接会場にお越しください。会場は9時20分から開場しております。開始前までに発表データを会場パソコンに移して頂きますようお願い致します。

8. 感染対策について

（1）会期中の主な感染対策について

- 各会場の定員は収容定員数の半分以下とする
- 参加者には、1週間前からの体調確認、参加当日の検温、体調確認をお願いする
（体調不良等による当日キャンセルの場合もキャンセル料は頂かない）
- 会場入室における手指消毒、検温を実施する
- 常時マスクの着用、会場でも予備を準備する
- 換気：1時間に5分間窓・ドアの開放による換気を行う
- 各会場へのサーキュレーターを配置する
- 身体接触を伴うワークは行わない
- 研修会場では一時的な水分補給を除いて飲食を行わない
- 食事会場は、研修会場とは別に準備、黙食をお願いする

（2）ワークショップに関して

- 各会場の定員は使用する会場の収容定員数の半分以下とし、1会場20名程度で編成する
- 心理劇の実施中もマスクは着用する
- ウォームアップや演技中における身体接触は行わないように監督・講師が配慮する
- 参加者にも研修開始時に感染対策について十分にご協力頂くようお願いする
- 長時間の講義・質疑の際は受講者座席間隔を1.5m以上となるように配置する

9. プログラム

ワークショップ：2月18日（土）13:00～18:00

A. 初心者コース

A-1：2号館 2302 教室

講師：古賀 聡 先生（九州大学） 甲斐 みゆき 先生（衛藤病院）
岩男 尚美 先生（筑紫女学園大学）

A-2：2号館 2201 教室

講師：平山 篤史 先生（沖縄国際大学） 池永 恵美 先生（大分大学）
水貝 洵子 先生（西南女学院大学）

（趣旨説明）

『私たちの過去・現在・未来を「いま - ここ」で、「みんな」で味わう』

初めて心理劇を体験される方や、心理劇について基本から学びたい方を対象としています。心理劇の5要素や3相など基本的な流れを確認しながら、役割演技を体験していただく内容となっています。なお、本コースの受講は学会認定資格「心理劇技能士」取得のための要件のひとつとなります。「からだ」と「こころ」を弛めながら、自然と仕草やセリフがでてくるように展開します。「仲間との出会い」、「新たな私との出会い」が待っています。皆さんの希望や大切な思い出を共有することをめざします。また、臨床実習や臨床業務で経験している対人援助職ならではの苦労や戸惑いの『あるある』を、アクションメソッド、ロールプレイングを用いながら共有できればと考えています。

B. 経験者コース①「心理劇の技法を実践に活かしたい方」

会場：2号館 2101 教室

講師：菊池 悌一郎 先生（九州工業大学） 宮里 新之介 先生（沖縄国際大学）
神野 陽介 先生（おおりん病院）

（趣旨説明）

このコースは、心理劇の技法を実践に活かすための方法について学びたい方を対象としています。特に、心理劇についてある程度研修を受けたものの、日々の臨床活動の中でどのように取り入れたらよいか迷っている方にお勧めです。

当日は、日々の臨床活動での苦労や工夫についてお互いに分かち合いながら、心理劇を活かせそうなイメージをふくらませたり、それをどうやって実現化していけそうなのかということをテーマに研修を進めていけたらと考えています。

C. 経験者コース②心理劇の技法を深めたい方（監督体験を含む）」

会場：2号館 2205 教室

講師：岡嶋 一郎 先生（西九州大学）

池田 顕吾 先生（東区第1障がい者基幹相談支援センター）

阪木 啓二 先生（九州産業大学）

（趣旨説明）

このコースは、心理劇の技法を深めたい方を対象としています。特に、普段さまざまな臨床現場で心理劇を実施している方で、日々の臨床実践について改めて振り返りたい方やより良い実践を行うためのヒントを得たい方にお勧めです。なお、学会認定資格「心理劇臨床技能士資格」取得のための監督体験が必要な方はぜひこちらのコースにご参加ください。

D. オンラインコース「オンラインでの心理劇体験」

講師：古川 卓 先生（琉球大学） 黒山 竜太 先生（熊本大学）

本吉 大介 先生（熊本大学）

（趣旨説明）

対面でのご参加が難しいオンラインによる参加者のみを対象としています。ZOOMを用いたオンライン上のウォーミング・アップ、ロール・プレイング、話し合いを一緒に体験していただくとともに、今後の心理劇におけるオンラインの利用可能性について意見交換できたらと思います。また、当日のコミュニケーションをとりやすくするために、事前に自己紹介アンケートへの回答・提出を予定していますので、参加希望される方は是非積極的にご協力ください。

研究発表：2月19日（日）10:00～11:30

研究発表A

会場：2号館 2101 教室

座長：重橋 のぞみ 先生（福岡女学院大学）・松藤 光生 先生（中村学園大学）

（1）構成的な心理劇による成人発達障害者支援

横山 太範（さっぽろ駅前クリニック）

（2）精神科デイケアにおける心理劇導入の試みと意義

甲斐 みゆき（医療法人社団親和会 衛藤病院）

岡田 あかり（医療法人社団親和会 衛藤病院）

（3）研究室内のコミュニケーション促進のためのグループワークの試み

—研究室内人間関係をテーマとしたロールプレイを中心に—

水内 良子（九州工業大学）

菊池 悌一郎（九州工業大学）

（4）精神科入院患者に対する対人交流の活性化に向けた心理劇の導入

神野 陽介（医療法人十全会おおりん病院）

研究発表B

会場：2号館 2201 教室

座長：服巻 豊 先生（広島大学）・杉本 有紗 先生（西南女学院大学）

（1）外在化と役割演技を用いた怒りの情動調整支援の試み

—“ムカムカ怪獣のワーク”による心理教育の有効性に関する検討—

五位塚 和也（大阪大谷大学）

（2）トレジャーズメッセージ・オンラインの開発とその国際評価

岡嶋 一郎（西九州大学）

城下 未来（長崎リハビリテーション学院）

岡嶋 さやか（西九州大学学生相談室）

（3）トレジャーズメッセージがもたらす情動体験の検討

—温かな気持ちの生起と日常生活への影響に注目して—

江田 朱里（九州大学大学院人間環境学府）

古賀 聡（九州大学大学院人間環境学研究院）

（4）ソシオドラマにおける親子関係の理解の深まり

—模擬事例を用いたドラマ体験と学び—

杉山 みのり（九州大学大学院人間環境学府）

古賀 聡（九州大学大学院人間環境学研究院）

シンポジウム：2月19日（日）13:00～15:00

会場：4号館4101 教室

シンポジウムテーマ

「これまでの各領域での取り組みと新たな展開」

ここ数年間のコロナ禍により、突如グループの意義を問われる時代がきました。様々な領域や現場の事情がある中で、心理劇実践が継続できている方もいれば、課題を抱えている状況もあると思われます。そこでこの度、「これまでの各領域での取り組みと新たな展開」というテーマをもとに、参加者の皆さまとともに、改めてグループの持つ力、心理劇の重要性について考えていきたいと思い、シンポジウムを企画しました。

当日は、各領域でご活躍されているシンポジストの方々に「日常的な臨床活動の枠組みに、心理劇の要素をどのように取り入れているか」、また、「それぞれの現場における課題がある中で活動を継続するためにどのような工夫をされているか」、さらに、「実践の中での新たな気づきや可能性」について取り組みを報告していただきます。心理劇の新たな展開について参加者の皆様と討論を深めたいと考えています。

話題提供者：

医療領域 川上 仁公 先生（医療法人優なぎ会雁の巣病院 作業療法士）

福祉領域 上地 信乃 先生・上原 淳子 先生

（児童心理治療施設ノアーズ・ガーデン 臨床心理士）

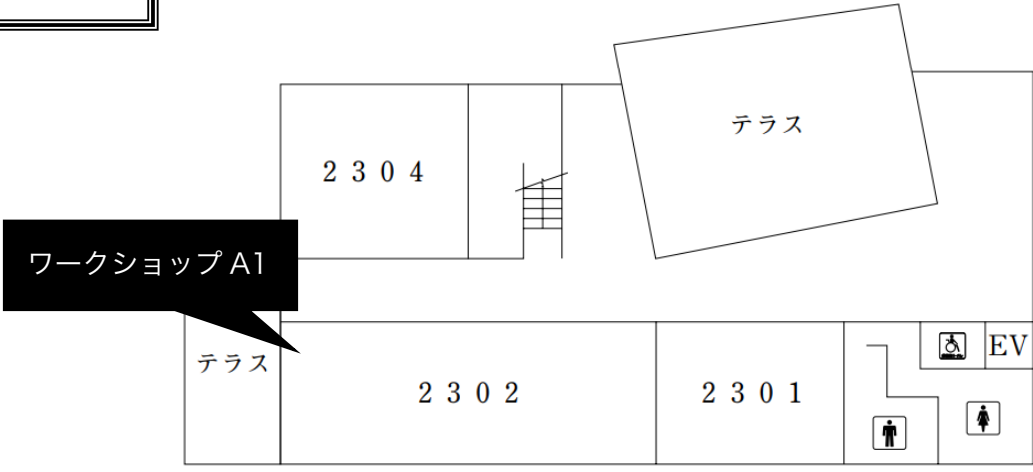
教育領域 吉川 昌子 先生（中村学園大学教育学部児童幼児教育学科 教授）

指定討論者：針塚 進 先生（九州大学 名誉教授）

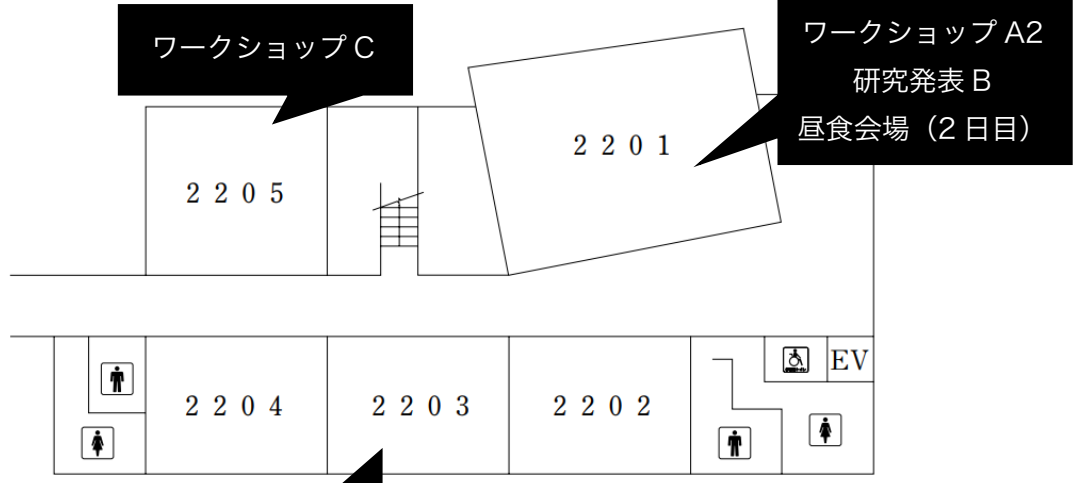
ファシリテーター：岡嶋 一郎 先生（西九州大学 教授）

会場マップ

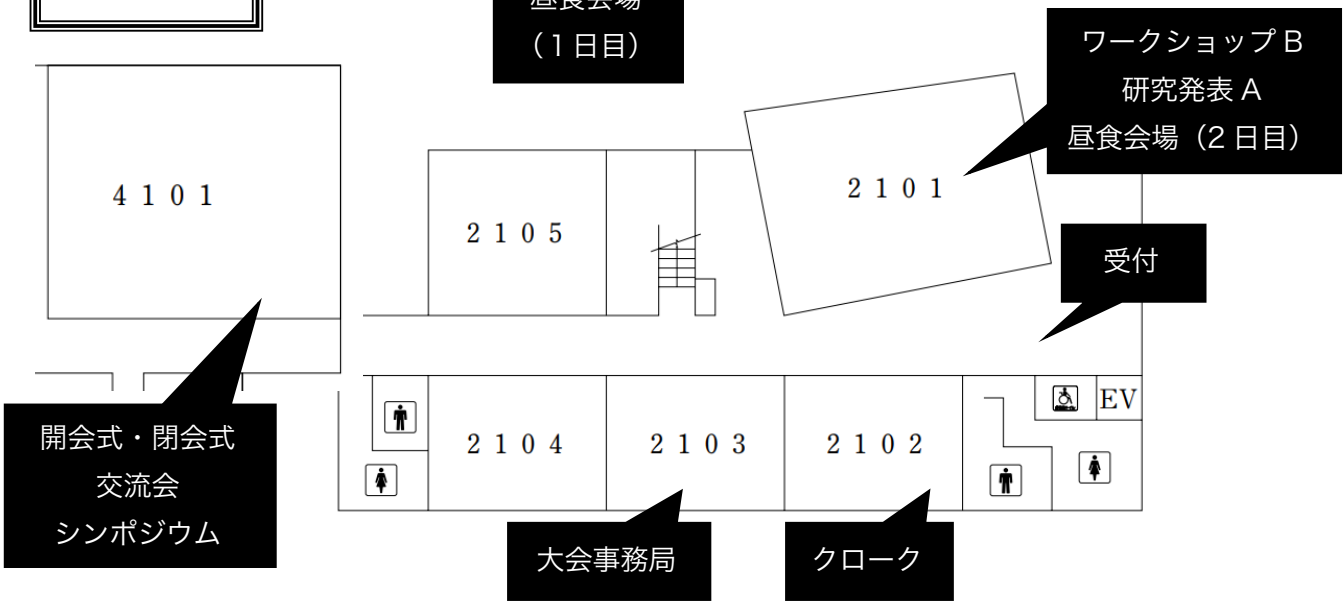
2号館3F



2号館2F



2号館1F

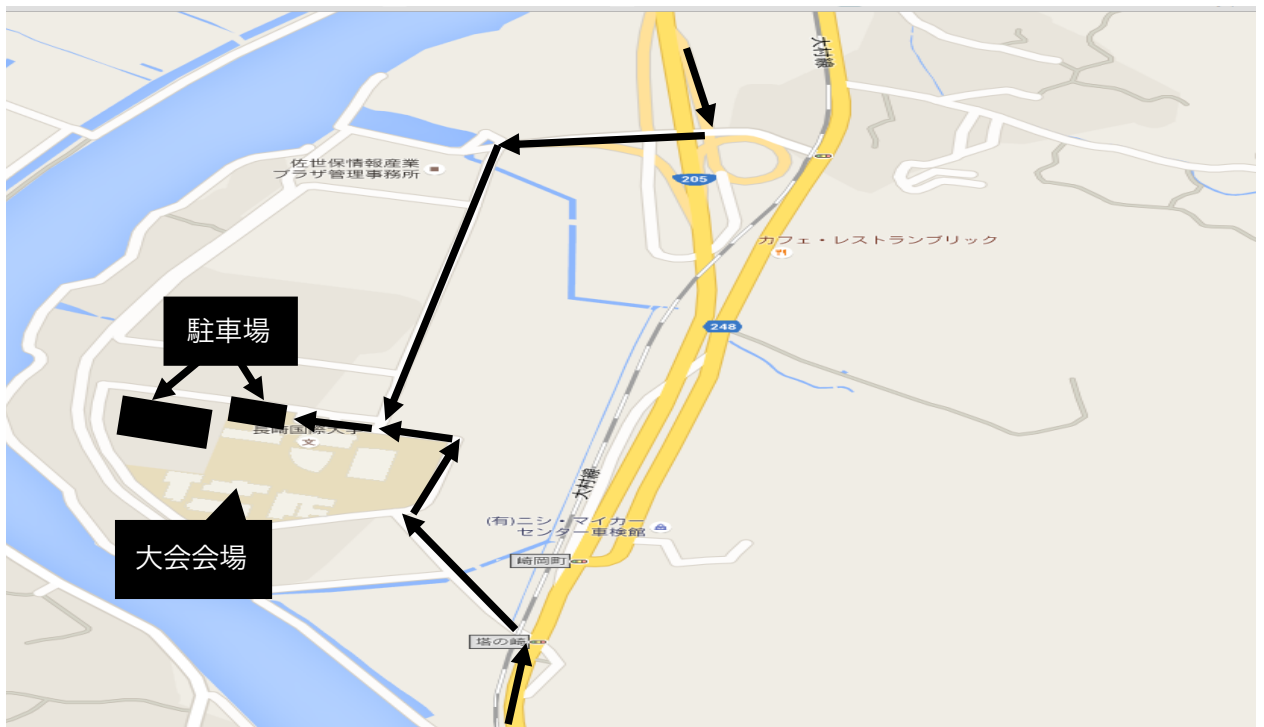


駐車場のご案内

駐車場案内



長崎国際大学までの径路

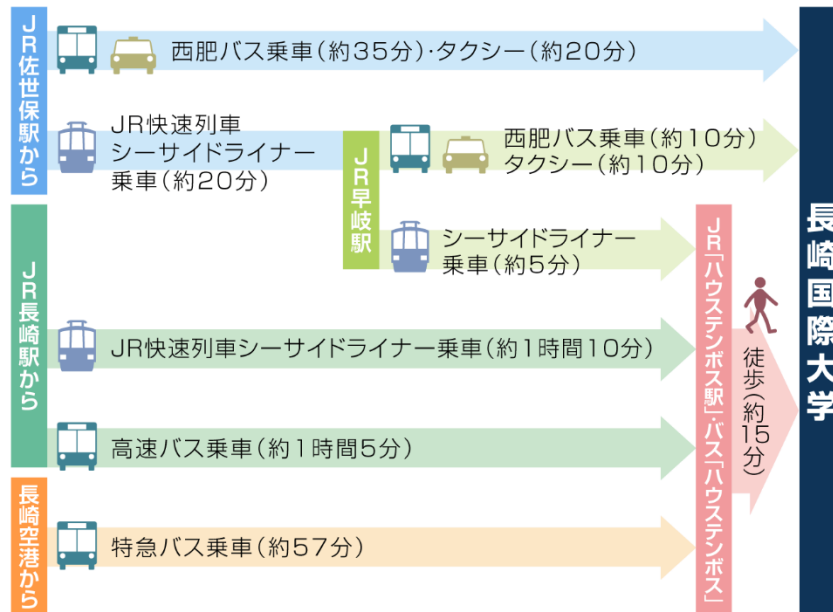


会場（交通）案内

大会会場 長崎国際大学

〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7

交通アクセス



日本臨床心理劇学会第48回長崎大会組織

大会長	柳 智盛
事務局長	細野 康文
実行委員	奥村 香織
	河口 直子
	佐尾 俊美
	座間味 愛理
	城下 未来
	弟子丸 美由貴
	古川 美咲
	牟田 愛裕実
	向 晃佑
	米満 恭一郎

協力	岩永 眞歩
	尾上 詩乃
	宋 映沃
	田添 聡子
	中村 尚生
	樋渡 由貴
	藤野 正和
	古川 依里香

日本臨床心理劇学会第48回長崎大会事務局

〒852-8558 長崎市三ツ山町 235 番地

長崎純心大学 人文学部 細野康文

メール：psychodrama48nagasaki@gmail.com

ホームページ：https://psychodrama48nagasaki.jimdofree.com